

タイトル

二人の教え子」△に拘束されて前から横からえっちなイタズラされちゃうボイス

≡■先生（視聴者）…椅子に座ってる（拘束されてる）状態 ※以後、変更なし

≡※各キャラの立ち位置は、『主人公の方を向いた状態でどこか』を基準で記載しています。

≡■小夜…左前

≡■雅…右前

//@BG:学校・部室（夕？）

※主人公は寝ているので小声で（もしくはエフェクトを掛ける？）

【小夜】

「うん、これで完成ね」

【雅】

「おーっ、意外と簡単に拘束できたね☆」

【小夜】

「ふふっ、せっかくだから記念に……」

【雅】

「あたしも……」

//@SE:チャッター音（スマホ） 複数回？

※ここから二人とも普通の音量で（もしくはエフェクトオフ）

【雅】

「あっ♪ 起きた起きた♪」

【小夜】

「おはようございます、先生」

【雅】

「あははっ、そんな格好で普通に『おはよう』って……
くふふっ、マヌケすぎ☆」

【小夜】

「ふふっ、縛られてることに今、気付いたんですか？」

【雅】

「ん？ 『縛ったのはキミ達か』？ そーだよ、大正解」

【雅】

「先生がいつも『遊んでないで部活やろう』って言うから、
今日はマジメにやってあげよーかなーって思ってたのに、
部室に来たら先生、寝てるんだもん」

≡◆耳打ち

【小夜】

「そんな先生の姿を見たら、悪戯しなくなっていました♪」

≡◆耳打ち

【雅】

「くふふっ、たーっぷり悪戯しちやお☆」

≡◆耳打ち

【小夜】

「覚悟してくださいね、先生♪」

【雅】

「もー、そんなに怖がなくてもいいじゃん」

【小夜】

「そうですよ、先生」

≡◆耳打ち

【小夜】

「あんまり怯えた顔を見せられると、逆にいじめたくなってしまうよ」

【小夜】

「なんて、嘘ですよ。ふふっ」

【小夜】

「安心してください、先生。痛いことも、怖いこともしないですから」

【小夜】

「ふふっ、律儀に頷く先生、可愛いです♪」

≡◆耳元で

【雅】

「ふうふうう~~~~」

//@SE椅子がガタって鳴る？<先生が驚いたニュアンス

【雅】

「くふふっ！ 先生、めっちゃビククリした☆」

【雅】

「小夜ばかり見て無防備にしてるから、
思わずイタズラしちゃった☆」

【小夜】

「あら、嫉妬しちゃって、雅ってば可愛い♪」

【雅】

「しっ、嫉妬なんかしてないしっ」

【雅】

「てか！ 早く先生にイタズラしよーよ」

【小夜】

「そうね」

【小夜】

「それじゃあ、先生、失礼しますね」

≡◆耳打ち

【小夜】

「先生の体、見た目通り細いですね」

【雅】

「でも、女の子とは違った硬さがあって、ちゃんと男の人って感じがする」

≡◆耳打ち

【雅】

「腕とかふにふにしてなくて、あたしと全然違う……」

【小夜】

「先生、時々、体がビクってなりますけど、くすぐったいんですか？」

≡◆耳打ち

【小夜】

「それとも、女子校生に体を触られるのが気持ちいいんですか？」

≡◆耳打ち

【雅】

「先生がして欲しーなら、いっぱい触ってあげるよ？」

【小夜】

「あら、首を横に振られちゃった。まだ恥ずかしいんですか？」

【雅】

「んもー、先生つてば硬すぎだよ」

【雅】

「こーなったら……こうだっ」

【雅】

「こちよこちよこちよ☆」

【雅】

「あははっ、暴れても逃げられないぞ☆」

【雅】

「ほーら、ほーら！ くすぐられると体がふにやふにやになっちゃうでしょ」

※くすぐりは、ここまで。

【小夜】

「あら、本当。先生の体から力が抜けたわね」

【小夜】

「でも……」

≡◆耳打ち

【小夜】

「ふふっ、先生つてば『敏感』なんですネ♪」

【雅】

「あ、先生、顔まっかになった☆」

【雅】

「けど、まーた体が硬くなっちゃった」

≡◆耳打ち

【小夜】

「じゃあ、今度は私がくすぐっちゃいますね」

【小夜】

「え？ 『くすぐりはもう勘弁して欲しい』？」

【小夜】

「それなら深呼吸はどうですか？」

≡◆耳元で

【小夜】

「すうう……はああ……すうう……はああ……」

※頭の『んっ』は、ちょい色っぽく（字面通りじゃなくても大丈夫です）

【小夜】

「んっ……」

先生の耳元で深呼吸したら、先生の匂いを感じちゃいました♪

≡◆耳打ち

【小夜】

「ふふっ、とても素敵な匂いですよ？」

【雅】

「え？ どれどれ？」

≡◆耳元で

【雅】

「すんすん……」

≡◆耳打ち

【小夜】

「知ってますか、先生？ 匂いが好きな相手とは相性がいいらしいですよ？」

≡◆耳打ち

※なんの…体（性的な意味）を指してるので、ちょい強調してもらうのもありかもです

【小夜】

「ふふっ、『なんの』相性がいいんでしょうね？」

【雅】

「あっ、前にあたしがボディークリーム変えたとき、先生『いい香りだね』って言ったよね？」

【雅】

「くふふっ、じゃあ……」

≡◆耳打ち

【雅】

「あたしと先生、相性バツチリだ☆」

【小夜】

「あら、そんなこと言ったんですか？」

女の子を褒められるなんて偉いじゃないですか。いい子いい子♪」

【雅】

「これからもホメてくれたら、こんな風にいい子いい子してあげるね」

※窘めるⅡたしなめる

【小夜】

『「こらっ」って、そんな格好で窘められても迫力ないですよ？」

≡★わかりづらい（違和感が出る）場合は、距離の変更なしで

≡■雅 .. 右前（やや遠め） ※びっくりして少し離れた

【雅】

「そっ、そうだぞ」

【雅】

「こ、こつちには切り札があるんだから……っ」

【小夜】

「これですよ」

≡■小夜 .. 左前（距離激近） ※写真を見せるために近づいた

【小夜】

「ほら、寝てる先生の姿がしっかりと撮れてるでしょ？」

【小夜】

「もちろん、これだけじゃないですよ」

【小夜】

「こっちは先生にエッチなことしてるように見えるでしょ？」

≡◆耳打ち

【小夜】

「とても素敵な写真ですし、クラスメイトに自慢したくなっちゃいますね♪」

≡■小夜…左前 ※写真を見せる前の距離に戻る

【小夜】

「先生のスマホにも送っておきますね」

【小夜】

「はい、送信完了♪」

≡■雅 …右前

【雅】

「あ、先生、観念したみたい」

≡◆耳打ち

【小夜】

「ふふっ、じゃあ遠慮なく先生のこと好きにしちゃいますね♪」

【雅】

「ねえねえ、何する！」

【小夜】

「せっかく拘束しているんだし、今だから出来ることもしてみたいわね」

【雅】

「たとえばどんな？」

【小夜】

「んー……そうね……」

≡◆耳打ち

≡……

【小夜】

「先生のおちんちん、見せて欲しいです」

※卑語なし ver

【小夜】

「先生の男性器、見せて欲しいです」

≡……

【雅】

「うえっ!？」

【小夜】

「ネットで無修正画像を見たことあるけど、
やっぱり生で見たいじゃない」

【小夜】

「雅は興味ないの？」

※虚勢

【雅】

「そ、そそそんなわけないじゃん」

【雅】

「ただ、さすがにやりすぎかなー、って思ったただだし」

【小夜】

「ここには私達と先生しかいないし大丈夫よ。
先生も言いふらすような人じゃないし」

【小夜】

「それに……」

※雅に耳打ちしてるので小声（遠く）な感じで

【小夜】

「先生と『深い仲』になれるのよ？」

【雅】

「深い、仲……」

【雅】

「……よし」

≡……

【雅】

「先生のおちんちん見せて！」

※卑語なし ver

【雅】

「先生の、見せて！」

≡……

【小夜】

「雅、先生は縛られてるから私達が脱がさない」と

【雅】

「あ、そっか」

≡■小夜…股間前（左）

≡■雅…股間前（右）

≡※収録時の位置（マイクとの距離）は変更なし？

【小夜】

「失礼しますね？ 先生」

//@SE:椅子の音？く抵抗を表現

【雅】

「ちよつ、先生ー、縛られてるんだから暴れても意味ないってば」

//@SE:衣擦れ?<ズボンを脱がす

【小夜】

「ふふつ、先生が身動きしたら腰が浮いて、とても脱がしやすかったです♪」

//-----

【雅】

「うわー、うわー！　これが先生のおちんちん……」

※卑語なし ver

【雅】

「うわー、うわー！　これが先生の……」

//-----

//-----

【小夜】

「あら、先生のおちんちん、縮こまってますね」

※卑語なし ver

【小夜】

「あら、先生の男性器、縮こまってますね」

//-----

【小夜】

「なんだか可愛らしいです♪」

【雅】

「や、やっぱり……勃起したら……もっとでっかくなるんだよね？」

【小夜】

「ええ、もちろん。」

ネットに書かれた平均サイズを信じるなら……このくらい、かしら？」

【雅】

「ふおお……」

【小夜】

「それじゃあ、失礼しますね？ 先生」

【小夜】

「あ、思ったよりも柔らかい。なんだか不思議な感じです」

【小夜】

「でも、この感触、なんだか癖になっちゃいそうです」

【雅】

「あ、あたしも触るっ」

【雅】

「ふおおお……これが、先生のおちんちん……」

※卑語なし ver

【雅】

「ふおおお……これが、先生の……」

【雅】

「先っぽはこんな感じになってるんだ、へええ」

【雅】

「裏側は……おおお……」

【小夜】

「ふふっ、雅ってば、まじまじとおちんちん見て、そんなに珍しいの？」

※卑語なし ver

【小夜】

「ふふっ、雅ってば、まじまじとあちこち見て、そんなに珍しいの？」

＝――

【雅】

「あ、当たり前じゃん。初めて見るんだし」

【小夜】

「ネットに無修正画像なんていくらでもあるのに？」

【雅】

「そうだけど……」

＝――

【雅】

「好きでもない人のおちんちんとか見たくないし」

※卑語なし ver

【雅】

「好きでもない人のなんか見たくないし」

＝――

※普段は隠してる本音（好き）が無意識に口にしちゃって雅ってば可愛いなあ、なニユアン
ス

【小夜】

「ふふふふっ」

【雅】

「？ あたし、なんか変なこと言った？」

【小夜】

「ううん、言っていないわよ」

【小夜】

「私も雅を見習って『観察』してみようかしら」

【小夜】

「すんすん……」

【小夜】

「匂いは……無臭、かしら？」

＝……

【雅】

「あ……先生のぉちんちん、小夜の息が掛かったらピクってなった」

※卑語なし ver

【雅】

「あ……小夜の息が掛かったら、先生のピクってなった」

＝……

【小夜】

「あら、可愛い♪」

【小夜】

「ふうう~~~~♪」

【小夜】

「ふふっ、本当ね♪

耳に息を吹きかけた時みたいに可愛い反応してる♪」

【雅】

「あたしも！ あたしもやる！」

【雅】

「ふうう~~~~♪」

【小夜】

「勃起していなくても反応するものなんですね、これは新発見です」

【雅】

「あつ、タマはそんなに重くないんだ」

【小夜】

「ふふふつ、ここで精子が作られるんですね」

【雅】

「ごくっ……せーし……」

【小夜】

「あら、精子に興味あるの？ 雅」

【雅】

「ちょ、ちょっとだけね」

【小夜】

「生徒がこれだけ『お勉強』したいと思ってるんですし、先生にしっかりと教えてもらわないといけませんね♪」

【雅】

「けごや……」

//-----

【雅】

「さっきからせんせーのおちんちん、全然勃起しないんだけど？」

※卑語なし ver

【雅】

「さっきからせんせーの、全然勃起しないんだけど？」

//-----

【小夜】

「確かにそうね」

＝――

【小夜】

「こんなに可愛い教え子がおちんちんいじってるのに、
なんで元気にならないんですか？」

※卑語なし ver

【小夜】

「こんなに可愛い教え子が男性器いじってるのに、
なんで元気にならないんですか？」

＝――

【小夜】

「不能なんですか？」

【雅】

『緊張してそれどころじゃない』？

【小夜】

「部室は校舎の中でも奥まったところにありますから、
誰も来ないと思いますよ？」

【小夜】

「現に、今まで部活中に誰も来てないじゃないですか」

【雅】

「それに、あたしたちも言いふらしたりはしないし、
何も心配することないよ？」

【小夜】

「まあ、それでも先生は生真面目だから気にしてしまいますよね」

【小夜】

「それなら、私達が先生の既成概念を取り払ってあげます♪」

【雅】

「なにすんの？」

【小夜】

「先生のことを徹底的に気持ちよくしてあげて、男性の本能を解き放ってあげるの」

【雅】

「それって、あたしたちで興奮して……い、イク、ってこと？」

【小夜】

「そう。私達の魅力で先生のこと虜にしちゃうの」

【雅】

「とりこ……!!」

【雅】

「いいじゃん、それ！ やろうやろう！」

【小夜】

「あ、もちろん、先生に拒否権はありませんよ？」

【雅】

「もー諦めなつて、先生☆」

【小夜】

「せっかくだから、どちらの方が先生のことをより虜に出来たか競争しましょうか？」

【雅】

「えっ……」

【雅】

「小夜の方が知識いっぱいだし、あたしの方が不利じゃない？」

【小夜】

「勝った方が、負けた方と先生に好きなことを命令——」

※食い気味に

【雅】

「やるっ！」

【小夜】

「決まりね♪」

≡■小夜…左前

≡■雅…右前

【雅】

「ね、ねえ……いきなり激しくするのはアレだし、じっくりやらない？」

【小夜】

「じっくり……」

※楽しそうな展開を想像し

【小夜】

「んふふ♪ いいわよ」

※自分のペースで行けそうなのにプチ安堵

【雅】

「ホッ……」

【小夜】

「じゃあ、まずは私から」

【小夜】

「失礼しますね？ 先生」

≡■小夜…左前（近距離）

≡◆全体的に耳元で煽るような感じで？

≡ どう演出するかはお任せします

【小夜】

「ふふっ、先生に密着するのは初めてですね」

【小夜】

「どうです？ 雅ほどじゃありませんけど、それなりに胸があるでしょ？」

【小夜】

「ふふっ、心臓の音、聞こえますか？」

【小夜】

『聞こえない』？」

【小夜】

「あ、もしかして……」

//@SE:衣擦れく小夜が胸に手を当てた

【小夜】

「ふふっ、先生の胸、すごいドキドキしてますね」

【小夜】

「私の胸を押し当てられるの初めてだから緊張しちゃったんですね♪」

【小夜】

「ふうふう〜」

【小夜】

「ふふっ、少しは体から力が抜けました？」

≡■雅…右前（近距離）

≡◆全体的に耳元で煽るような感じで？

≡ どう演出するかはリビプロさんにお任せします

【雅】

「まだ硬いっぽいから、あたしも手伝ってあげる」

【雅】

「ふうふう〜」♪」

【小夜】

「片耳だけじゃ、バランス良く緊張がほぐれないみたいですわね」

【雅】

「じゃあ、二人一緒に……」

※同時

【小夜】

「ふうふうう~~~~~♪」

※同時

【雅】

「ふうふうう~~~~~☆」

【小夜】

「あ、先生の首にうつすらと汗が滲んできてる……」

【小夜】

「先生は身動きが取れないですし、私が汗を拭きますね？」

【小夜】

「んっ……れる、ちゅっ、ちゅく……んっ、れろ、れる……」

【小夜】

「ふふっ、誰も『ハンカチで汗を拭く』なんて言ってますんよ？」

【小夜】

「んっ、ちゅっ、ちゅっ……唇や……」

「れる、れろ……舌で舐め取っても綺麗に出来ますから」

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（汗を舐め取る）

【小夜】

「んっ、れろ……ちゅっ、ちゅ……ん、んっ……れちゅ、れる……んん……」

【雅】

「先生がいつもチラチラ見てたおっぱい、腕に当ててあげる」

【雅】

「あ。むにゅっ、むにゅっ、って先生の腕に押し当てると、ブラチラしちゃう」

【雅】

「くふふっ、先生、チラチラこっち見てる」

【雅】

「あたしがどんなブラつけてるのか気になる？」

【雅】

「今日はね、お気に入りのブラなんだよ？　どんなのだと思う？」

【雅】

「くふふっ、正解は教えてあげない☆」

【雅】

「気になるなら、いつもみたいにチラチラじゃなくて、
がつつり見ちやってもいいんだよ？」

【雅】

「ふうふうう~~~~♪」

【雅】

「ほおら、雅ちゃんはこっちだよー☆」

【小夜】

「ふうふうう~~~~♪」

【雅】

「あっ、今こっち向きかけてたのにっ」

【小夜】

「ふふっ、ごめんなさい」

【小夜】

「先生のこと、雅に取られるかと思って嫉妬しちゃいました」

【雅】

「小夜がそう来るなら、あたしだって」

【雅】

「んっ、れろ……れる、んっ、ん……れろ、れるれろ、れる……」

【雅】

「くふふっ、おっぱい押しつけながらの耳。ペロペロ、興奮するでしょ☆」

【小夜】

「あら、なら私は激しくしようかしら♪」

【小夜】

「んっ、れちゅ、れろれろ、ちゅっちゅっ……」

「んっ、はぁ、れろれろれろ、んん、ちゅう……」

※同時？

【雅】

「んっ、れろ、れるっ……んん、れろれろ、んっ、れるっ……」

「れろ、んっ、れるれる、れろお……」

※同時？

【小夜】

「れちゅる、れろれろ、れるう……んっ、れろれる、れちゅっ……」

「んちゅ、れろれろ、れるっ……」

【小夜】

「あっ♪」

【雅】

「？」

＝――

【小夜】

「先生のおちんちん、勃ってきた♪」

※卑語なし ver

【小夜】

「先生の男性器、勃ってきた♪」

＝――

【雅】

「あつ、ホントだ」

【小夜】

「でも、まだこんなものじゃないですよね？」

【小夜】

「もっと硬く、大きくしてあげますね」

【雅】

「なにすんの？」

【小夜】

「あれだけ耳を責められたら私達の唇を意識しちゃってるでしょうし……」

【小夜】

「キス、しましょうか」

【雅】

「！？」

【小夜】

「先生、キスのご経験はありますか？」

【小夜】

「『なに？』」

【小夜】

「なら、これがファーストキス、ですね」

【小夜】

「もちろん、私もファーストキスですよ♪」

【雅】

「すっ、ストップストップ！ 順番のへんこーをよーぼーします！」

【小夜】

「ふふっ、雅ってば慌てちゃって、

そんなに先生のファーストキス欲しかったの？」

【雅】

「ちがっ！ そんなんじゃないし！」

【小夜】

「じゃあ、私が先でもいい？」

【雅】

「うっ……それは……あの……うー……」

【小夜】

「ふふっ、もう、素直に先がいいって言えばいいのに」

※内緒話っぽくウイスパーで？

【小夜】

「あとで、たくさんキスしましょうね、先生♪」

※雅が正面に移動するので、ちょっとだけ間を置く？

≡ ■ 雅 …… 正面

【雅】

「じゃ、じゃあ……キス、する、よ……？」

※拙いキスなので、ちゅば音は少なめでお願いします

【雅】

「んっ……はっ……ん、んっ……んっ……」

【雅】

「はぁっ……あははっ、先生のファーストキスもらっちゃった☆」

≡■小夜…左隣（耳元？）

【小夜】

「先生、どうです？ 雅の唇は」

【小夜】

『柔らかかった気がする？』

【雅】

「気がするって……ちゃんと感触わかってないの？」

【雅】

「なら、もっかい……」

【雅】

「んっ……ん、んん……はぁ、んっ……んっ、ん……」

【雅】

「わかった？ あたしの唇の感触……」

【小夜】

「ふふっ、気持ちよかったみたいですね、先生。

熱っぽい目になってますよ？」

【雅】

「へえー、あたしの唇、そんなに良かったんだあー」

【雅】

「じゃあ、もうっとしてあげるよ☆」

※このあたりからこなれてきて、ちゅぱ音が増えていく感じをお願いします

【雅】

「んっ、んっ……ん、ちゅっ、はぁ……んんっ、ん、ちゅぷ、んっ……」

※汎用ボイス…小夜のセリフ中、裏で流す用（キスするのみ）

【雅】

「ん、はぁっ……はっ、んっ、ちゅっ、んん……
ん、ふっ、んっ、ちゅ……ん、んっ、んん……」

【小夜】

「先生はキスされるだけでいいんですか？
欲望に忠実になっていいんですよ？」

≡◆耳打ち

【小夜】

「それとも、する方のファーストキスは私に取っておいてくれるんですか？」

【雅】

「んんっ、あげない……ん、ちゅっ、んん……
先生のファーストキスは全部、あたしのものなんだから……」

【雅】

「ん、ふっ……先生も、遠慮なくていいんだからね？」

【雅】

「はぁっ、んん……だから、先生からもして？」

【雅】

「んっ！ あっ、ん、んんっ……先生からもキスしてくれた☆」

【雅】

「いっぱいキスしあお？ んっ、ん、ちゅっ、ん、んんっ……」

※汎用ボイス…小夜のセリフ中、裏で流す用（キスしたりされたり）

【雅】

「ん、ちゅ、んっ……んんっ、んっ、ちゅっ……
ちゅっ、ん、はあっ、んんっ、んっ……」

【小夜】

「先生、雅の唇は美味しいですか？」

【小夜】

『桃の味がする』？」

【雅】

「んっ、ん……それ、あたしが使ってるリップのやつ……」

【雅】

「ちゃんと、あたし自身の味を感じてよ、もお……」

【雅】

「先生、デキが悪いから補習ね……んっ、んっ、んんっ……」

≡◆耳打ち

【小夜】

「あんなこと言ってますけど、

本当は雅自身が先生とキスしたいんですよ♪」

【雅】

「んんっ、ん、ちゅ……んっ、ん、ふっ……」

「ん、ちゅっ、んんっ……ん、はあ、んっ、ちゅっ……」

【雅】

「んっ、はあっ……どう？　あたしの味、わかった？」

【雅】

「あっ、やっぱり答えなくていい」

≡◆耳打ち

【雅】

「だって納得する答えを言われちゃったら、
またキスできなくなっちゃうでしょ？」

【小夜】

「その時は嘘について、先生の答えを不正解にすればいいのに」

※その手があったか！ と衝撃を受ける

【雅】

「！？」

【小夜】

「じゃあ、雅の補習授業も終わりましたし、
今度は私とキスしましょうね、先生♪」

≡■小夜…正面

【小夜】

「先生の唇、つやつやしていますね。」

雅のリップが先生の唇に移ったのかしら？」

≡■雅 …右隣（耳元？）

【雅】

「んふー☆ いっぱいキスしたもんね、先生♪」

【小夜】

「艶を帯びた先生の唇、とても色っぽいですよ。それはもう……」

≡◆耳打ち

【小夜】

「貪りたいくらいに」

【小夜】

「ふふっ、先生の瞳、潤ってますね。私とのキス、想像したんですか？」

【小夜】

「いいですよ、先生……。キス、しましょう」

≡◆耳打ち

【小夜】

「私と先生が想像した、食るようなキスを」

※ディープキス

【小夜】

「んっ……れるっ、ちゅくっ……」

んん、んむっ、ちゅぷっ、れちゅっ……ちゅぷる、ちゅくうっ……」

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（ディープキス）

【小夜】

「れろ、れる……んっ、ちゅっ、ちゅろ、ちゅく……」

んっ、ちゅぷ、くちゅっ……ちゅく、ちゅるっ、んちゅう……」

【雅】

「うわぁ……口の中にベロ、入れて……れるろ絡めて……ごくっ、すごい……」

※小声でポツリと（思わず漏れた本音@独り言）

【雅】

「あたしもすれば良かったな……」

【小夜】

「んっ、れるう……先生の舌、んっ、ちゅく……」

想像以上に柔らかいですね」

【小夜】

「ちゅぷ、んっ、んるんる……先生とのディープキス、とても気持ちよくて……
んっ、れちゅっ、ちゅくっ……高ぶってしまいます」

【雅】

「あ……小夜の顔、火照ってきてる……」

【小夜】

「んちゅっ、れるっ、んん……」

私の舌をねぶる先生、積極的でとても素敵ですよ」

【小夜】

「ちゅく、んっ、れちゅる……たっぷりと、ねぶりあいましょうね♪」

【小夜】

「んんっ、ちゅぶ、れる、れちゅっ……ん、ちゅむっ、んる、えろれろ……
くちゅっ、んっ、ちゅぶ、んっ、んっ……」

【雅】

「うわあ、口の端からヨダレ垂れちゃってる」

【雅】

「ごくっ……キスって、こんなエッチな音するんだ。
見てるこっちまでエッチな気分になってくる……」

【小夜】

「んんっ、ちゅく、れちゅっ……どうですか……
んっ、れるう……女子校生の味は……？」

【小夜】

「ん、はあっ、んちゅっ、れる……ふふっ、先生ってばキスに夢中で……
んっ！ 私の話、聞こえてない♪」

【小夜】

「れる、れる、ちゅくう……んっ、んん……
男の人も、キスが気持ちいいんですね」

【小夜】

「んん、ちゅく、ちゅぶ……んっ、れちゅ、ちゅっ……
先生が女子校生の味を忘れないように……んっ、んんっ……」

【雅】

「あ……。先生の喉、動いてる……。小夜のヨダレ飲んでるんだ……」

【小夜】

「んんっ……駄目ですよ、先生……んっ、れちゅっ、ちゅっ……
ちゃんと、味わって飲まないと……」

【小夜】

「んっ、んっ、んん……はっ、んっ、れちゅ、くちゅっ、
こうやって口の中に溜めた状態でキスをして……」

【小夜】

「ちゅぷ、ちゅっ、ちゅくっ……ん、れちゅっ、ちゅぷっ、んんっ……
はい、どうぞ♪」

【小夜】

「は、んっ……今度は、先生のを飲ませてください」

【小夜】

「んんっ……れちゅっ、くちゅっ、ちゅぷ、んんっ、ちゅくっ、ちゅぷっ……っ」

【小夜】

「ん、んっ……ん、ん……んっ……」

【小夜】

「はぁあっ♪」

【雅】

「うわぁ……小夜と先生のベロ、糸引いてる……えろい……」

【小夜】

「ふふっ、先生、『もっとしたい』って目をしてますね」

【小夜】

「でも、駄目ですよ？」

【小夜】

「だって集中できないんですもん」

≡◆耳打ち

≡-----

【小夜】

「先生の勃起したおちんちん、お尻に当たってるから」

※卑語なし ver

【小夜】

「先生の勃起した男性器が、お尻に当たってるから」

≡-----

※拗ねるぐらいのニュアンスで

【雅】

「むっ……先生、あたしときは、ここまでおつきくしなかったくせに」

※私達を少し強調した感じでお願いします

【小夜】

「それだけ、私達とのキスが良かったんですね、先生♪」

※小夜の『私達』という言葉を受けて、速攻で機嫌を直す

【雅】

「え？ そーなの？」

【雅】

「んもー、それならそうと言ってくれればいいのにー」

≡◆耳打ち

【雅】

「したくなったら言っただけ？ いつでもキスしてあげるから☆」

【小夜】

「ね、先生、ここまで来たら、もう我慢できませんよね？」

≡◆耳打ち

【小夜】

「ほら、言ってください。『もう我慢できない。イキたい』って」

【雅】

「お願いしないでいいの？」

≡-----

【雅】

「勃起したおちんちん、自分で慰めても絶対に物足りないよ？」

※卑語なし ver

【雅】

「あれだけのキスをしたあとに、自分で慰めても絶対に物足りないよ？」

≡-----

≡◆耳打ち

【雅】

「先生のキモチ、聞かせて？」

※先生が話してる間を少しだけ？

【小夜】

「はい、よく出来ました♪」

≡◆耳打ち

【小夜】

「じゃあ……しっかりと、抜いてあげますね♪」

≡-----

【小夜】

「先生のおちんちん……熱くて……硬くて……ぬるぬるで……たまらないです」

※卑語なし ver

【小夜】

「先生の男性器……熱くて……硬くて……ぬるぬるで……たまらないです」

＝
――

＝
――
【雅】

「先生、どう？ 女子こーせーの手で、おちんちんシコシコされるのは」

※卑語なし ver

【雅】

「先生、どう？ 女子こーせーの手でシコシコされるのは」

＝
――

【小夜】

「あら、まだ触っただけよ？」

【小夜】

「シコシコって言うなら、このくらいしないと♪」

※ここから本格的に手コキ開始

【小夜】

「んっ、んっ……んっ、んっ……！」

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（手コキのみ）

【小夜】

「んっ、んっ……んっ、ん……んっ、んっ、んん……っ！」

【雅】

「うわっ、小夜が手を上下に動かしたら、先生、ビクンってなった」

【小夜】

「ふふっ、いきなりカリ首は刺激が強すぎたかしら？」

【小夜】

「でも、やめませんよ？ ほらほら♪」

【雅】

「うわあ、小夜が手を動かすとクチュクチュってエロい音がする」

≡◆耳打ち

【雅】

「ね、先生、気持ちいいの？」

先走り汁いっぱい出しちゃうぐらい、気持ちいいの？」

【小夜】

「ああ、感じてる先生の顔、素敵♪」

≡◆耳打ち

【小夜】

「先生、せっかくですし、キスの続きもしましょ♪」

※手コキは続けてます

【小夜】

「んんっ、ちゅぷっ、ちゅくっ……はあ、んっ、れちゅっ、ちゅく、ちゅむっ……」

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（手コキ＋キス）

【小夜】

「ちゅっ、んちゅっ、んっ、んん……」

んっ、はっ、ちゅく、ちゅっ、ちゅっ、んん……っ！」

【雅】

「ね、先生、小夜の手、先生が出した先走り汁でぬるぬるになってるよ」

≡◆耳打ち

【雅】

「くふふ、生徒の手をエロく汚しちゃうなんて、先生ってイケナイんだ☆」

≡-----

【小夜】

「ちゅぷ、んっ……先生のおちんちん、また大きくなりましたね」

※卑語なし ver

【小夜】

「ちゅぷっ、んっ……先生の男性器、また大きくなりましたね」

＝

【小夜】

「ふふっ、背徳的なエッチっていいですよね♪」

【雅】

「へえー、先生ってば背徳的なのが好きなんだあー、スケベ☆」

【小夜】

「もっともっと背徳的なこと、しましょうか♪」

【小夜】

「何をするのかって？」

【小夜】

「先生の体にキスマークをつけるんです」

【小夜】

「そうしたら、他の先生方に気付かれないかドキドキしますし、着替えるときやお風呂に入るときに思い出すでしょう？」

＝
◆耳打ち

＝

【小夜】

「ふふっ、その度に先生のおちんちは勃起してしまうんですかね？」

＝
※卑語なし ver

【小夜】

「ふふっ、その度に先生の男性器は勃起してしまうんですかね？」

＝

＝
◆耳打ち

【雅】

「勃起したときは、あたしたちとのキスとか、おっぱいとか思い出して……」

≡◆耳打ち

≡-----

【雅】

「今、小夜がしてるみたいに、何度もおちんちんシコシコして、
いっつつっぱい抜いていいよ☆」

※卑語なし ver

【雅】

「今、小夜がしてるみたいに、何度もシコシコして、
いっつつっぱい抜いていいよ☆」

≡-----

【小夜】

「先生が私達のことを思い出せるように、たくさんキスマークをつけますね♪」

※キスマークをつけるので、音は少し強めで？

【小夜】

「んっ、ちゅっ、ちゅっ、んっ、んっ……
んっ、ちゅっちゅっ！ んっ！ んっ！」

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（手コキ+キスでマーキング）

【小夜】

「んっ、んっ、ちゅっ！ ちゅっ、んんっ、ちゅっ！
はぁっ、んんっ、ちゅっ、ちゅっ！」

【雅】

「くふふっ、先生の顔、とろっとろだぁ☆」

【小夜】

「首だけじゃなくて、体にもキスマークつけちゃいますね♪」

//★SEを入れるとテンポが悪くなる場合は、そのまま次の小夜のセリフへ移行してしまっ
てください。

//@SE:衣擦れ（服を脱がせる）音

【小夜】

「まずは胸から……んっ、ちゅっ♪ んっ、んんっ、ちゅっ♪
ちゅっ、んん、んっ、んっ♪」

【雅】

「先生、男の人なのに肌が白いから、キスマーク、すっごく目立つよ☆」

≡◆耳打ち

【雅】

「あ、首のキスマークはしっかりネクタイ締めないと見えちゃうかも」

≡◆耳打ち

【雅】

「これじゃ、人前でネクタイ緩められないね☆」

≡-----

【小夜】

「んっ、ちゅっ、ちゅっ、んん……」

先生のおちんちん、どんどん遅く反り返っていく♪」

※卑語なし ver

【小夜】

「んっ、ちゅっ、ちゅっ、んん……」

先生の男性器、どんどん遅く反り返っていく♪」

≡-----

≡-----

【雅】

「うわあ、ガチガチに勃起した先生のおちんちん、先走り汁でどろっどろ☆」

※卑語なし ver

【雅】

「うわあ、ガチガチに勃起した先生の、先走り汁でどろっどろ☆」

≡-----

【小夜】

「ちゅっちゅっ、んんっ、それだけじゃないわよ？」

【小夜】

「んんっ、ん、んちゅっ、

今にも破裂しそうなくらいパンパンに膨らんで、今にも爆発しちやいそう」

≡◆耳打ち

【雅】

「もしかして、先生、イキそうなの？」

【小夜】

「ふふっ、ちゅっ、んっ、んん、必死に頷いちゃって可愛い♪」

【小夜】

「でも——」

※ここで手コキストップ

【小夜】

「まだイカせてあげません」

【小夜】

「そんな切なそうな目で見つめても駄目ですよ？ だって……」

【雅】

「次はあたしがシコシコする番だよ☆」

≡■雅 .. 股間前（真っ正面）

≡-----

【雅】

「うわぁ……先生のおちんちん、近くで見ると

シコシコされすぎて先走り汁が濁っちゃってる……」

※卑語なし ver

【雅】

「うわぁ……先生の、近くで見ると

シコシコされすぎて先走り汁が濁っちゃってる……」

＝……

【雅】

「それに……くんくん」

【雅】

「離れてたときには感じなかったエッチな匂いがすごい」

【雅】

「くく……」

【雅】

「じゃ、じゃぁ……握る、よ……？」

＝……

【雅】

「あ……おちんちん、熱いって言うよりあったかいって感じかも」

※卑語なし ver

【雅】

「あ……先生のここ、熱いって言うよりあったかいって感じかも」

＝……

【雅】

「先走り汁ってちょっと糸は引くけど、思ったよりぬるぬるしてない……」

＝■小夜…左隣

＝◆耳打ち

＝……

【小夜】

「もどかしそうな顔して……先生、おちんちん、切ないんですか？」

※卑語なし ver

【小夜】

「もどかしそうな顔して……先生、早く男性器しごいて欲しいんですか？」

＝

※小夜の言葉を受けて待たせてたことに気付く

【雅】

「あ……」

【雅】

「んもお、我慢できないなら、『おねだり』してくれればいいのに」

＝

【雅】

「じゃあ……おちんちん、シコシコするよ？」

※卑語なし ver

【雅】

「じゃあ……シコシコするよ？」

＝

※たどたどしい感じなので、気持ちゆっくりめです？

【雅】

「んっ……ん、っと……んっ……ん……んっ……」

【雅】

「あ……先走り汁がとろーって出てきた」

【雅】

「くふふっ、先生、気持ちいいんだあ」

※汎用ボイス…小夜のセリフ中、裏で流す用（手コキ）

【雅】

「んっ……んっ……んっ……んっ……」

【小夜】

「ふふっ、雅の手も先走り汁でぬるぬるにしたいんですか？ 先生」

≡◆耳打ち

【小夜】

「いいんですよ？ 好きなだけ先走り汁まみれにして」

≡-----

【雅】

「わっ、あたしの手の中でおちんちん、ビクンってなった」

※卑語なし ver

【雅】

「わっ、あたしの手の中で先生の、ビクンってなった」

≡-----

【雅】

「んっ、んっ……こうやって反応してくれるの、んっ、ん、すごく、嬉しい☆」

【雅】

「もっともっとしてあげる……んっ、ん……んっ、んっ……」

※汎用ボイス…小夜のセリフ中、裏で流す用（さっきよりも少しテンポ速め）

【雅】

「んっ、んっ……んん、んっ……ん、んっ……ん、ん、ん……」

≡-----

【小夜】

「ふふっ、雅ってば先生のおちんちに夢中になっちゃってますよ」

※卑語なし ver

【小夜】

「ふふっ、雅ってば先生の男性器に夢中になっちゃってますよ」

≡-----

≡◆耳打ち

【小夜】

「私も、先生に夢中ですよ♪」

【小夜】

「んっ、ちゅっ、ちゅっ……はぁっ、んちゅっ、ちゅっ……」

【小夜】

「ふふっ、耳にキスされても感じちゃうんですね、先生は♪」

【小夜】

「ほら、雅、もっと気持ちよくしてあげないと、先生、耳の方に集中しちゃうわよ？」

≡★雅のセリフが聞こえづらくなるなど、何か支障がある場合はスルーしてください。

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（耳にキス）

【小夜】

「ちゅっ、ちゅっ……ん、ちゅっ……はぁ、んっ、ちゅっ、ちゅっ……」

【雅】

「ちよ、ダメっ」

≡-----

【雅】

「こうなったら、両手で先生のおちんちんを——」

※卑語なし ver

【雅】

「こうなったら、両手で先生のを——」

≡-----

【雅】

「んっ、んっ……んん……ん、んっ、んんっ……」

//-----

【雅】

「あつ、おちんちん、ビクンってした」

※卑語なし ver

【雅】

「あつ、先生の、ビクンってした」

//-----

【雅】

「ここ？ この出っ張ったところシコシコされるのいいの？」

【雅】

「それじゃあ、ここ、いっぱい擦ってあげるね☆」

【雅】

「んんっ、んっ……はっ、んっ、ん、んっ……んっ、はあ、んっ、んん……」

◆耳打ち

【小夜】

「カリ首をしごかれて身悶えする先生、可愛いです♪」

【小夜】

「ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……はあ、んっ……ちゅっ……」

//-----

【小夜】

「ふふっ、おちんちに感覚を集中できないでしょう？」

※卑語なし ver

【小夜】

「ふふっ、男性器に感覚を集中できないでしょう？」

//-----

【小夜】

「なんでこんなことをするのかって？」

【小夜】

「先生が悶える姿を見たいんです♪」

【雅】

「んっ、んっ、ほら、先生こっち見て？」

あたしの手、んんっ、先生の先走り汁でぬるぬるだよ？」

【雅】

「んんっ、ん、ん、このまま、先走り汁だけじゃなくて、
んっ、んっ、精液も出しちゃっていいよ？」

≡◆耳打ち

【小夜】

「このまま射精したら、雅の顔に精液がべったりついちゃいますね♪」

≡◆耳打ち

【小夜】

「私も……先生の精液、欲しいです」

【小夜】

「んっ、れる……れろお……んっ、れる、れる……んんっ……」

≡-----

【雅】

「むっ、小夜に耳を舐められた時の方が、先生のおちんちん反応がいい」

※卑語なし ver

【雅】

「むっ、小夜に耳を舐められた時の方が、先生の反応がいい」

≡-----

【雅】

「そんなに舐められるのが好きなら、あたしだって！」

【雅】

「あむっ！」

【雅】

「んっ……ちゅくっ、ちゅむっ……んちゅっ……ちゅぷ、ちゅくう……」

※これ以降、セリフ部分も咥えたまま（わかりづらくなりすぎない程度に）でお願いします

＝……

【雅】

「ん、ふぁ……先生のおちんちん、口の中でビクンビクンって震えてる☆」

※卑語なし ver

【雅】

「ん、ふぁ……先生の、あたしの口の中でビクンビクンって震えてる☆」

＝……

【雅】

「ちゅっ、ちゅび……ちゅくっ、んんっ……

いっぱいしゃぶってあげるからね、先生☆」

※汎用ボイス…小夜のセリフ中、裏で流す用（フェラ）

【雅】

「んっ、ちゅく……ちゅっ、ちゅっ……

ちゅぷ、んちゅっ……ちゅく、ちゅむっ……」

【小夜】

「口でするのって、手でするのはまた違った卑猥さがありますね」

＝◆耳打ち

【小夜】

「私も、興奮してきちゃいました……」

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（吐息）

【小夜】

「はぁ……はぁ……んくっ……はっ、はぁっ……はぁ……」

＝――

【雅】

「んちゅつ、ちゅる、んんっ……
先生のおちんちん、ちよつとしよっぱい……」

※卑語なし ver

【雅】

「んちゅつ、ちゅる、んんっ……
先生の、ちよつとしよっぱい……」

＝――

【雅】

「んむつ、んっ、ちゅばあ……でも、美味しいよ？
ちゅく、ちゅつ、んん……あたし、これ好き……っ」

【雅】

「ちゅる、んっ、ちゅぶっ……んん、あたし、一日中しやぶつてられるよ？」

【雅】

「だから、んちゅつ、イクの我慢し続けて、
いっぱいあたしの口、たんのーしてね☆」

【雅】

「んっ、ちゅく、ちゅる……んんっ、ちゅびっ……
ちゅつ、ちゅつ、んふ、んっ……」

【雅】

「んふふっ、先生、あたしの口、ジッと見てる……
れちゅつ、ちゅるっ、ちゅく……ちゅば、んっ、ちゅる、ちゅむ、んんっ……」

【小夜】

「もう我慢できません……」

≡◆耳打ち

【小夜】

「ね、先生……雅に隠れて、イケナイこと、しましょう？」

//@SE:拘束を外す音

【小夜】

「片手だけでも、これで少しは自由に動かせますよね」

【小夜】

「それで……」

//@SE:手を動かす（衣擦れ？）

【小夜】

「ほら、わかりますか？」

≡◆耳打ち

//-----

【小夜】

「下着の上からでもわかるくらい、私のおまんこ濡れているでしょう？」

※卑語なし ver

【小夜】

「下着の上からでもわかるくらい、私のアソコ濡れているでしょう？」

//-----

≡◆耳打ち

【小夜】

「下着の中は、もおーっと、すごいことになってますよ♪」

【小夜】

「今、確かめさせてあげますね」

//@SE:指を挿入

//-----

【小夜】

「んっ！ あっ、はぁ……先生の指が、私のおまんこの中に入ってる……」

※卑語なし ver

【小夜】

「んっ！ あっ、はぁ……先生の指が、私の中に入ってる……」

//-----

≡◆耳打ち

//-----

【小夜】

「私、オナニーはクリトリス派なので、
おまんこの中に初めて入れたのは先生の指なんですよ？」

※卑語なし ver

【小夜】

「私、オナニーはクリトリス派なので、
私の中に初めて入れたのは先生の指なんですよ？」

//-----

【小夜】

「んっ、あっ……はぁっ、んんっ……
先生の指を使ってオナニーするの、気持ちいい……っ」

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（オナニー）

【小夜】

「あっ、あっ……んっ、ぁぁ……んんっ……あっ、はぁっ……んっ……」

【雅】

「んんっ！」

//-----

【雅】

「ちゅくつ、んちゅつ、んっ……先生のおちんちん、口の中で暴れすぎ☆」

※卑語なし ver

【雅】

「ちゅくつ、んちゅつ、んっ……先生の、口の中で暴れすぎ☆」

＝……＝

【雅】

「んっ、ちゅつ、ちゅぷ……舐められながらシコシコされるのいいんだ？」

【雅】

「くちゅつ、ちゅつ、んんっ……」

もっとしてあげるから、もっと気持ちよくなって？」

【雅】

「ちゅぷつ、ちゅるっ、ちゅうっ……」

だんだん、先生の弱いところわかってきた……」

【雅】

「ちゅくつ、ちゅぷつ……ん、んっ……」

こうやって、たまにベロでチロチロされると、ビクンってなるよね☆」

【雅】

「んんっ、れちゅ、ちゅくつ……んん……」

先生の弱いところ、あとで全部メモっとこ☆」

【雅】

「んっ、ちゅぷ、んっ、くちゅつ、ちゅつ、ちゅつ……」

はあっ、んちゅつ、ちゅるっ、ちゅくつ……」

【小夜】

「あんっ！」

【雅】

「ん………？」

【雅】

「ちよっ！ 小夜、なにしてんの！？」

【小夜】

「あら、先生の手でオナニーしてるの見つかった」

【雅】

「小夜、ズルい！ あたしも先生の手でエッチなことをしたいのに！」

【小夜】

「じゃあ、交代しましょうか？」

≡◆耳打ち

【小夜】

「続きは、また今度しましょうね♪」

≡■雅 .. 正面（右寄り？）

≡★小夜との距離感の差が出せない場合は『右隣』に変更？

【雅】

「もー、小夜ってば油断も隙もないんだから……」

≡■小夜..股間前（真っ正面）

≡-----

【小夜】

「先生のおちんちん、雅の唾液と先生の先走り汁でどろどろですね」

※卑語なし ver

【小夜】

「先生の男性器、雅の唾液と先生の先走り汁でどろどろですね」

≡-----

【小夜】

「でも……もつとどろどろにしちやいますね？」

【小夜】

「んっ、じゅぷっ、ぐぷっ……じゅむっ、ぢゅうっ……
じゅぽっ、じゅぷっ、んん……っ」

※以後、セリフは啞えてる感じでお願ひします

【小夜】

「んじゅっ、じゅるっ、んん……
ふふっ、キスの時みたいいきなり激しくされると思ひました？」

【小夜】

「んっ、ちゅぷっ、んぢゅっ……でも、そんなことしたら、
先生、すぐイツちやうかもしれないじゃないですか？」

【小夜】

「だって……」

〓-----

【小夜】

「先生のおちんちん、
今にも破裂しそうなほどパンパンに膨らんでるんですもん」

※卑語なし ver

【小夜】

「先生の男性器、
今にも破裂しそうなほどパンパンに膨らんでるんですもん」

〓-----

〓-----

【小夜】

「だから、少しでも長く先生のおちんちんにフェラチオ出来るように、
じつくりと、です♪」

※卑語なし ver

【小夜】

「だから、少しでも長くフェラチオ出来るように、じつくりと、です♪」
〓-----

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（フェラ）

【小夜】

「じゅくつ、ぢゅむつ……じゅふつ、ぢゅむつ、んじゅるつ……
じゅぐつ、ぢゅぷつ……」

【雅】

「ね、先生……あたしのおっぱい、すごいいんだよ？」

≡◆耳打ち

【雅】

「今なら片手が自由だから、触り放題だよ☆」

//@SE:衣擦れ？<胸が触ったことがわかるように

【雅】

「ブラでしっかり支えてあるのに、
おっぱい、マシユマロみたいにあわっふわでしょ☆」

【雅】

「あんっ！」

【雅】

「くふふつ、先生からおっぱい揉んできた☆」

【雅】

「あたしは『触り放題』って言ったのに、先生、揉んじやうんだあ、
エッチいー☆」

≡◆耳打ち

【雅】

「でも、先生にならいいよ？ 揉み放題にしてあげても」

【雅】

「あたしのふわふわおっぱいは、先生のモノだから」

【雅】

「んっ、あっ……はぁ……あっ、んっ、んっ……
積極的な先生、ステキだよ☆」

【雅】

「はぁっ、はっ、んっ……あたしも積極的に、好きなことしよ☆」

【雅】

「んっ、あっ……何をするのかって？」

≡◆耳打ち

【雅】

「でいーぷきす☆」

【雅】

「んむっ、んちゅっ、れちゅっ……
くちゅっ、ちゅぱっ、んむ、んんっ、んうっ……」

【雅】

「んちゅっ、ちゅびっ、デープキス、すごい……んんっ、ちゅく、
あたしと先生のツバがクチュクチュって混ざる音が頭の中に響くっ」

【雅】

「はぁっ、んっ、ちゅっ、ちゅっ……普通のキスも良かったけど、
んむっ、れちゅっ、こっちのキスの方が何倍も気持ちいいかも」

【雅】

「ちゅくっ、んむ、ちゅぷっ……おっぱい揉まれるのも気持ちいいから……
ん、ちゅっ、れちゅっ……囁んじやったらゴメンね？」

※汎用ボイス…小夜のセリフ中、裏で流す用（デープキス）

【雅】

「れちゅっ、くちゅっ、ちゅぷっ……
んんっ、ちゅびっ、ちゅくう、ちゅっ、ちゅっ……」

【小夜】

「んっ、じゅるっ、ちゅばあ……

女子校生の口で上も下も気持ちよくなれるなんて、
先生は幸せ者ですね♪」

【小夜】

「んぢゅっ、じゅぽっ、ぐぽっ、んぢゅうう……っ！

んじゅるっ、じゅくっ、じゅるじゅる、じゅぷう……っ！」

【小夜】

「んふふっ、じゅく、じゅぷっ、不意打ちでいいなり激しくしたのに、
よくイクの我慢できましたね♪」

【小夜】

「んじゅるっ、ぢゅぢゅっ、

これなら、このまま激しくし続けても大丈夫そうですね」

〓-----

【小夜】

「ぢゅぷっ、んぢゅっ、ぢゅむっ、おちんちんだけじゃなくて、
腰まで震えてる、んぢゅっ、ぢゅっ、ぢゅぐうっ！」

※卑語なし ver

【小夜】

「ぢゅぷっ、んぢゅっ、ぢゅむっ、男性器だけじゃなくて、
腰まで震えてる、んぢゅっ、ぢゅっ、ぢゅぐうっ！」

〓-----

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（少し激しめのフェラ）

【小夜】

「んじゅっ、じゅぷっ、じゅくっ……んじゅるっ、じゅぢゅっ……
ちゅくっ、んぢゅっ、ぢゅっ、ぢゅっ！」

【雅】

「ふはあっ……キスしながら息するのってムズか——ふあっ!？」

【雅】

「先生、あたしの胸に顔うずめてどうしたの？
おっぱい欲しくなっちゃった？」

【雅】

「ちよつと待ってね」

//@SE:ブラウスのボタンを外し、ブラも外す（ずらす）

【雅】

「はい、生おっぱい☆」

【雅】

「先生が大好きなふわふわおっぱい、好きにしてい——あん！」

【雅】

「あつ、あつ……はあつ……」

「おっぱい、先生にキス、されちゃってる……っ」

【雅】

「ん、あ、あ……小夜が先生にしてみたに、
今度は先生があたしにキスマークつけるの？」

≡◆耳打ち

【雅】

「いいよ☆ 好きなだけ、あたしの体にキスマークつけさせてあげる☆」

【雅】

「——ひゃあん！」

【雅】

「あつ、ああつ、せ、先生っ、そこはっ、乳首は元々ピンクだから、
あつ、あんっ、キスマークはつかないってばあ」

【雅】

「んんっ、あつ、はっ、顔もおっぱいに押しつけて、先生、おっぱい好きすぎ——あんっ！ あつ、あぁっ！」

【雅】

「あぁっ、あつ、んあぁっ、でもこれ、先生に甘えられてるみたいで……んんっ！ あぁっ、すごく、いい……っ！」

【雅】

「はぁっ、あぁっ、あつ、先生に乳首ちゅーちゅーされると、乳首、硬くなって……あんっ！ あつ、あつ、どンドン、敏感になっちゃうっ！」

【雅】

「あつ、あつ、んんっ！ あぁっ、あつ、先生、もっとしてっ！んあつ、あぁっ！ もっとお……っ！」

※汎用ボイス…小夜のセリフ中、裏で流す用（喘ぎ）

【雅】

「ふぁっ、あつ、あぁっ！ んっ、あぁぁ……っ！あつ、あつ、あぁん！ あぁっ、あつ！ あぁっ！」

【小夜】

「じゅぷっ、んぢゅうっ、ぢゅくっ、んんっ、先走り汁の味、変わってきた、ぢゅぷっ、んぢゅっ！」

【小夜】

「ぢゅむっ、ぢゅっ、ぢゅぷっ、先生、イキそうなんですネ？」

【小夜】

「んっ、じゅくっ、じゅむっ、ほらほら、じゅぷっ、我慢せずにイッていいんですよ」

【小夜】

「じゅるっ、ぢゅぷっ、んぢゅっ、私が受け止めてあげますから、じゅるじゅるっ、思い切り射精してください」

【小夜】

「んむっ、ぢゅっ、ぐふっ、んんっ、

私の口に、先生の精液、たくさん出して下さいっ！」

※射精（口内）

※口の中に出されただけで、飲んではいません

【小夜】

「んんっ！ んっ、ふっ、ん、んんっ……ん、んっ……」

【小夜】

「んっ……ちゅ、ふっ……」

【雅】

「んんっ……先生、キスも、おっぱい揉むのも、やめちゃだあ……」

≡■小夜…正面（左寄り？）

※ここから啜えてない状態です

※精液を口に含んだ状態で

【小夜】

「雅……」

【雅】

「んえ……？」

※口の中の精液を手のひらに出す

【小夜】

「んっ……」

【小夜】

「先生、精液が手から零れちゃいそうなくらい出したから、力入らなくなっちゃったみたい」

【雅】

「これが、先生のせーえきなんだ……」

【雅】

「くっ……」

【小夜】

「……ちよつと舐めてみる？」

【雅】

「う、うん……」

【雅】

「れろ……んっ……」

【雅】

「あれ？ あんまり苦くない？」

※おかわり

【雅】

「んっ、ちゆる……ん、んくっ……」

【雅】

「んんっ……先生のせーえき、ドロツとしてて、すごく濃い……」

【雅】

「でも、これが先生の味なんだ……」

【雅】

「んっ……ちゆる……ん、んっ……ちゆる、ちゆる……ん、んっ……」

【雅】

「はあく♪」

【小夜】

「え……？　ちよ、ちよつと、全部飲んじやったの!？」

【雅】

「え？ あ、ホントだ、無意識に全部飲んじゃった」

【小夜】

「もう、仕方がないわねえ……」

【小夜】

「なんて言うもんですか！」

【雅】

「んんっ、れちゆるっ、ちゆくっ、んんう……っ！？」

【小夜】

「ちゆくっ、ちゆるっ、ん、んっ、雅の口の中、
少しだけ、先生の精液の味が残ってる」

【雅】

「ん、んっ、くちゅっ……小夜、ちよっと待って……んんっ」

【小夜】

「待たない、んちゅっ、くちゆる、ちゅぶっ、んちゅっ、ちゅぶう」

【雅】

「んふ、んっ、ちゆく、ちゅぶ、んっ、ん、ちゆく、ん、んん……」

【小夜】

「れちゅっ、ちゆく、ちゆる、ん、んっ、ちゅぶっ、くちゅっ、ちゆくっ」

【小夜】

「ん、ちゅばあ……」

【小夜】

「ああ、もう先生の精液の味なくなっちゃった……」

【雅】

「い、ごめんね……？」

【小夜】

「まあ、いいわ。勝負には勝ったわけだし」

※エッチなことに夢中だったので忘れてる

【雅】

「？　しょーぶ……？」

【小夜】

「最初に『どちらが先生のことをよりメロメロに出来るか勝負する』って話をしたでしょう？」

【雅】

「あっ！？」

【小夜】

「勝った方が好きなことを命令できるよね♪」

【小夜】

「ふふっ、何をしてもらおうかしら」

※ちよいびびり

【雅】

「き、きついのは、なしね……？」

【小夜】

「じゃあ、雅と先生のセックスを見せてもらおうかしら」

【雅】

「！？」

【小夜】

「あら、先生とセックスしたくないの？」

【雅】

「そ、それは、したい、けど……でも……先生はいいの？」

＝……＝

【小夜】

「おちんちん、勃起したままでし……」

先生も、女子校生のおまんこに入りたいですね？」

※卑語なし ver

【小夜】

「男性器、勃起したままでし……」

先生も、女子校生とのセックス、したいですね？」

＝……＝

【小夜】

「ほら、先生も『うん』だって」

【雅】

「へ、へえ、そんなにしたいんだ。じゃあ……」

＝◆耳打ち

【雅】

「あたしの処女と、先生のどーてー、交換こしよ」

＝■雅 ……正面

【雅】

「先生はそのまま座っていいよ。あたしが入れてあげる」

【雅】

「あ……パンツ脱ぐ前に跨がっちゃった」

【雅】

「ま、いつか。ずらせば大丈夫だもんね」

//@SE:下着をずらす音する？

//-----

【雅】

「おちんちんをおまんこの入り口に合わせて……」

※卑語なし ver

【雅】

「先生のを、あたしの大事なところに合わせて……」

//-----

//@SE:挿入

【雅】

「んっ！ あっ、はっ……ん、んんっ……」

【雅】

「んっ、あ、あっ……」

先生におっぱいいじられてエッチな体になっちゃったから、
結構、すんなり入って来るっ」

【雅】

「あふ、んっ、あ、あ、あ……あ、んっ！」

【雅】

「はぁ……はぁ……」

≡◆耳打ち

//-----

【雅】

「あたしのおまんこ、先生のおちんちんでいっぱいになっちゃった☆」

※卑語なし ver

【雅】

「あたしの中、先生のでいっぱいになっちゃった☆」

//-----

＝……

【雅】

「ね、先生……」

おまんことおちんちんだけじゃなくて、あたしたちも密着しちやお☆」

※卑語なし ver

【雅】

「ね、先生……」

あたしと先生の大事なとこみたいに、あたしたちも密着しちやお☆」

＝……

＝■雅 …… 正面（近距離@右耳元）

【雅】

「初めてだから上手くできるかわかんないけど……」

＝……

【雅】

「おまんこで先生のおちんちん、たっくさんしごいてあげるね」

※卑語なし ver

【雅】

「いっぱい腰振って、先生のたっくさんしごいてあげるね」

＝……

【雅】

「んっ、あっ……先生のあっつきいけど、中、いっぱい濡れてるから……はっ、あっ、ん……結構、スムーズに動ける……」

※汎用ボイス…小夜のセリフ中、裏で流す用（喘ぎのみ）

【雅】

「あっ、あっ……ん、はあっ……あっ、あ、あっ……」

あん、ん、んんっ……」

≡■小夜…左隣

≡◆耳打ち

≡-----

【小夜】

「どうですか、先生？ 雅のおまんこは？」

※卑語なし ver

【小夜】

「どうですか、先生？ 雅の中は？」

≡-----

【小夜】

「にゆるにゆるで、締まりが良くて、すごく気持ちいい？」

【雅】

「んあつ、あ、ああつ……先生が感じてるの、あつ、んん……よく、わかるよ」

≡-----

【雅】

「あつ、あつ、おちんちんの反応が、んあつ、おまんこにダイレクトに伝わってきて、ああつ、あつ、すごくいい☆」

※卑語なし ver

【雅】

「あつ、あつ、先生の反応が、んあつ、中にダイレクトに伝わってきて、ああつ、あつ、すごくいい☆」

≡-----

【雅】

「はっ、はあつ、もつと、もつと締めて、あつ、あんっ、いっぱいシコシコしてあげるね☆」

※最初の「んっ」は力んだ表現です

【雅】

「んっ！ あっ、はっ……んんっ！ ああっ、あっ、はあん！」

〓……

【小夜】

【雅】

「あっ、すごいっ！ ああっ、あっ、初めてなのに、
んあっ、あっ、おちんちんでおまんこ擦るの、気持ちいい……っ！」

※卑語なし ver

【雅】

「あっ、すごいっ！ ああっ、あっ、初めてなのに、
んあっ、あっ、先生の中で、擦るの、気持ちいい……っ！」

〓……

【雅】

「んあっ！ ああっ、ああっ、これ、ヤバいつ、んんっ！
クセになっちゃいそう……っ！」

【雅】

「ああっ、はっ、あっ、あっ、
ますます先生のこと、んあっ、好きに、なっちゃうっ！」

※汎用ボイス…小夜のセリフ中、裏で流す用（強めの喘ぎのみ？）

【雅】

「あんっ、あっ、ああ……っ！ はっ、ああっ！
あん！ あっ、あっ、ああ……っ！」

【小夜】

「処女を満足させるなんて、すごいですね、先生」

＝……

【小夜】

「ほら、雅のおまんこ、腰を動かすたびにグチヨグチヨって、エッチな音がすごいじゃないですか」

※卑語なし ver

【小夜】

「ほら、雅が腰を動かすたびに、グチヨグチヨってエッチな音がすごいじゃないですか」

＝……

【小夜】

「こんなの見せられたら、体が火照って、我慢できなくなってしまう」

【小夜】

「先生、手をお借りしますね」

【小夜】

「んあっ……あふっ、んっ……あ、あっ……
やっぱり、先生の手でのオナニー気持ちいい……」

※汎用ボイス…雅のセリフ中、裏で流す用（喘ぎ）

【小夜】

「あっ、んっ……はあっ、あっ……あっ、あっ……んんっ……」

【雅】

「はあっ、ああっ、気持ちよすぎて足に力が入らないのに、んっ、ああっ、あっ、腰、止まんない……っ！」

【雅】

「んっ、はっ、ほら、さっきみたいに
上下に動いてパンパンするエッチじゃなくて、あん、あっ、ああっ、
前後に動いて奥をグリグリするエッチに変わってるでしょ……？」

【雅】

「はっ、はあっ、これ、んんっ、体が勝手に動いてるんだよ？」

【雅】

「ああっ、あつ、先生のこと好きだから、
んんっ、あたしの体が先生とのエッチを、
ふあっ、あつ、もっとしたいって求めてるみたい☆」

【雅】

「あんっ！ はっ、ああっ、先生のおちんちん、
んあ、ああっ、また大きくなったあ☆」

※卑語なし ver

【雅】

「あんっ！ はっ、ああっ、あたしの中で、
んあ、ああっ、先生のがまた大きくなったあ☆」

【雅】

「んっ、あつ、はあっ、先生のおちんちんも、
んあっ、あつ、あたしのおまんこ求めてるんだ☆」

※卑語なし ver

【雅】

「んっ、あつ、はあっ、先生も、
んあっ、あつ、あたしとのエッチ求めちゃってるんだ☆」

【雅】

「あつ、ああっ、はんっ！
いいよ、んんっ、奥で、グリグリいっぱい擦ってあげるっ」

【雅】

「んんっ！ あつ、はあっ、あつ、あつ！ 先生のおちんちん、
おまんこの中で、ビクンビクンって、んあ、あつ、いっぱい喜んでる☆」

※卑語なし ver

【雅】

「んんっ！ あっ、はあっ、あっ、あっ！ 先生の、
あたしの中で、ビクンビクンって、んあ、あっ、いっぱい喜んでる☆」

〓-----

【雅】

「はあっ、あんっ、んんっ……」

先生、イキたくなったら、んんっ、このままイッていいからね？」

【雅】

「んっ、はあっ、ああっ、生徒と先生だからとか、そんなのかんけーないっ」

【雅】

「あっ、あんっ、あたしは、先生のことが好きだから、
ん、ああっ、中に出して欲しいの……っ！」

【雅】

「あっ、ああっ、大好きな先生に、いっぱい気持ちよくなってもらって、
んあっ、ああっ、あたしの中を、先生のせーしでいっぱいにして欲しいの」

【雅】

「そのくらい、先生のことが好き、大好きっ！」

【雅】

「はっ、んっ、ああっ、いつもみたいな軽口じゃないの。
あんっ、ああっ、あっ、本当に先生が好きっ」

〓-----

【雅】

「ふあっ、んっ、大好きな先生とのエッチだから、
はっ、あっ、ああっ、こんなにおまんこグチヨグチヨなんだよ？」

※卑語なし ver

【雅】

「ふあつ、んつ、大好きな先生とのエッチだから、はつ、あつ、ああつ、あたしの中、こんなにグチヨグチヨなんだよ？」

＝……＝

【雅】

「はあん！ あつ、あああつ、好き、本当に好きつ、んつ、あああつ、先生、大好き……っ！」

【雅】

「んんつ、はつ、ああつ、だから、出して、あつ、あんつ、せーし、あたしの中に出して、ああつ、あつ、ああつ、いっぱい出してっ！」

【雅】

「ああつ！ あつ、あああ……っ！
先生、イクの？ ああつ、あつ、いいよ？」

【雅】

「んつ、はああつ、先生の、ああつ、大好きな先生のせーし、んんつ、全部、受け止めるからっ！」

【雅】

「ひあつ、ああつ、大好きな先生のせーし、欲しい、んんつ、はつ、ああつ、いっぱい、欲しいっ！」

ニ★次の雅のセリフの後ろでも大丈夫です

※射精（膣内）

【雅】

「ふあああああああゝゝゝっ！……！」

＝……

【雅】

「あつ、あつ、出てるっ！ 先生のせーし、おまんこで、びゅーって、いっぱい出てる……っ」

※卑語なし ver

【雅】

「あつ、あつ、出てるっ！ 先生のせーし、あたしの中で、びゅーって、いっぱい出てる……っ」

＝……

【雅】

「んあつ、あつ、ああつ、なに、これっ、ん、ああああ……中出して、こんなに気持ちいいの……っ？」

【雅】

「あつ、はっ、んんっ、あつ、またイクっ！あつ、ああつ、あああああああつ！！！！！」

【雅】

「はっ、はああつ……はああつ……すごい……ん、あ、ああ……エッチって、すごい……」

【雅】

「はあ……はああ……も、頭の中、真っ白で……は、ん……何も考えらんない……」

【小夜】

「余韻に浸つてるところ悪いけど、雅、交代」

【雅】

「ふえ……っ？」

【小夜】

「今度は、私の番」

【雅】

「あ、うん……」

//@SE: 抜く音 (ぬちゅん etc) ?

// ■小夜: 正面

//-----

【小夜】

「あら？ 先生のおちんちん、半勃起くらいの大きさになってる」

※卑語なし ver

【小夜】

「あら？ 先生の男性器、半勃起くらいの大きさになってる」

//-----

【小夜】

「2回の射精で、精液、全部出し切っちゃったのかしら……？」

【小夜】

「でも……」

// ◆耳打ち

//-----

【小夜】

「雅に入れてたときと同じくらい、おちんちん、硬く、大きくしてもらいます」

※卑語なし ver

【小夜】

「雅に入れてたときと同じくらい、男性器を硬く、大きくしてもらいます」

//-----

//@SE: ブラウスを脱ぐ音

//@SE: スカートを脱ぐ音

【小夜】

「ふふっ、部室で裸になっちゃいました♪」

【小夜】

「遠慮しないで、上から下まで好きなだけ見ていいですよ」

【小夜】

「あ……」

【小夜】

「下着も脱いだから、愛液が太腿まで垂れてきちゃいました」

【小夜】

「ほら、見てください、先生」

〓-----

【小夜】

「ここが、今から先生のおちんちんを入れるところですよ」

※卑語なし ver

【小夜】

「ここが、今から先生の男性器を入れるところですよ」

〓-----

〓-----

【小夜】

「愛液がとろとろ溢れてきて、

私のおまんこも、早く先生としたいって言ってますよ？」

※卑語なし ver

【小夜】

「愛液がとろとろ溢れてきて、

私のこども、早く先生としたいって言ってますよ？」

〓-----

【小夜】

「ふふっ、先生、いやらしい目になってますよ？
その気になってきましたか？」

【小夜】

「でも、まだ完全に勃起しきってないので、入れてあげません」

※先生を跨ぐ

【小夜】

「ん、っと……」

≡◆先生が完全勃起する（あはっ♪先生のおちんちん男性器、ガチガチに〜）まで耳元で？

≡-----

【小夜】

「ほら、もっと硬くしないと、
おちんちんが滑っておまんこに入らないでしょう？」

※卑語なし ver

【小夜】

「ほら、もっと硬くしないと、
男性器が滑って中に入らないでしょう？」

≡-----

≡-----

【小夜】

「だから……
おまんこに届くくらい先生がおちんちん勃起させるまでお預けです」

※卑語なし ver

【小夜】

「だから……
私のアソコに届くくらい先生が男性器を勃起させるまでお預けです」

≡-----

【小夜】

「あっ♪ どんどん勃ってきた♪」

【小夜】

「ふふっ、そんなに私とセックスしたいんですね、先生♪」

【小夜】

「頑張って、先生」

〓-----

【小夜】

「私のおまんこまで、あと少しですよ」

※卑語なし ver

【小夜】

「私のアソコまで、あと少しですよ」

〓-----

【小夜】

「勃起してここまで辿り着いたら……ご褒美に、私の処女、あげますよ？」

〓-----

【小夜】

「あはっ♪ 先生のおちんちん、ガチガチになりましたね♪」

※卑語なし ver

【小夜】

「あはっ♪ 先生の男性器、ガチガチになりましたね♪」

〓-----

【小夜】

「たくましく上を向いてて、すごいです♪」

【小夜】

「先生……私とセックス、したいですか？」

【小夜】

「ふふっ、じゃあしましょうか」

≡◆耳打ち

【小夜】

「実は、私も先生が欲しくて我慢の限界でした」

【小夜】

「先生の手でオナニーするの気持ちいいですけど……」

≡……

【小夜】

「やっぱり、先生のおちんちんが欲しいんです」

※卑語なし ver

【小夜】

「やっぱり、先生の男性器が欲しいんです」

≡……

【小夜】

「それじゃあ、先生。入れますね……？」

≡……

【小夜】

「んっ、あっ……先生のおちんちん、

はっ、あっ、おまんこ、掻き分けながら入ってくる……っ」

※卑語なし ver

【小夜】

「んっ、あっ……先生の男性器、

はっ、あっ、私の中、掻き分けながら入ってくる……っ」

≡……

【小夜】

「あん♪ 先生の、一番奥まで来ました♪」

【小夜】

「はぁ、はぁ……やっぱり、先生の、すごく大きい……」

≡◆耳打ち

【小夜】

「これ、すごく擦れると思うので……きつと、とても気持ちいいですよ」

≡-----

【小夜】

「私のおまんこ、たくさん堪能してくださいね♪」

※卑語なし ver

【小夜】

「私とのエッチも、たくさん堪能してくださいね♪」

≡-----

【小夜】

「あっ、んっ……はっ、ん……」

これ、ローターでのオナニーなんかとは比べものにならないです……っ」

【小夜】

「ん、はっ、ああっ……先生は、どうですか……？」

≡-----

【小夜】

「はっ、んんっ……擦れすぎて、おちんちん、痛くないですか？

んぁ、あっ……大丈夫ですか？」

※卑語なし ver

【小夜】

「はっ、んんっ……擦れすぎて、男性器、痛くないですか？

んぁ、あっ……大丈夫ですか？」

≡-----

【小夜】

「あつ、ん、ああっ……中がヒクヒク震えてるのがよくわかって……
んんっ……すごく興奮する……？」

【小夜】

「ん、ああ……ふふっ、本音が素直に言えるようになって、偉い偉い♪」

【小夜】

「はあっ、ん……最初は頭を撫でられるの恥ずかしがっていたのに……
ん、あ、あっ……今は、気持ちよさそうですね♪」

≡◆耳打ち

【小夜】

「あつ、あつ……は、んっ……素直な先生、とても愛おしいです……」

※腰は動かし続けてます

【小夜】

「んっ、ちゅっ、ちゅっ……はあっ、んっ、ちゅっ……
ちゅっ、ちゅっ、んんっ……」

≡-----

【小夜】

「んんっ、ちゅっ……
はあっ、おちんちんもいいですけど、キスもいいですね……」

※卑語なし ver

【小夜】

「んんっ、ちゅっ……
はあっ、男性器もいいですけど、キスもいいですね……」

≡-----

【小夜】

「あつ、んん……ほら、先生わかりますか……？」

【小夜】

「んあ、ああ……先生とキスするたび、私、どんどん濡れてきちゃってるんです……」

【小夜】

「ちゅくつ、ちゅつ、んんっ……」

だって、先生との、キスしながらのセックス……

あんっ、すごく気持ちいいから……っ」

【小夜】

「んんっ、ちゅつ、ちゅつ……ん、ああっ……」

けど、キスしながら腰を動かすの難しい……」

≡■雅 .. 右隣？

【雅】

「じゃあ、腰の方は先生に任せよ」

【小夜】

「え……っ？」

【雅】

「先生、手と足の拘束、解いてあげるね」

//@SE:先生の拘束を解く音

【小夜】

「ふああっ！ あっ、ひあっ、あっ、ああっ！

せ、先生、いきなりそんなに突かれたら……っ！」

※汎用ボイス..雅のセリフ中、裏で流す用（喘ぎ）

【小夜】

「あんっ、あっ、あああっ！ ふあっ！

あっ、ああっ、はあん！ あっ、あっ、あああっ！」

【雅】

「先生、ずーっと身動き取れなかったもんね」

【雅】

「小夜のこと、いっぱい感じさせてあげて」

【小夜】

「あぁっ、あつ！ 私、初めてなのに、ひぁっ、あんっ！
奥まで何度も突かれて、すごく感じちゃってるっ！」

【雅】

「ほら、せっかく役割分担したんだから、キスしないと」

〓……

【小夜】

「んぁっ、あつ、あぁっ！ そんなこと言われても、んんっ！
先生におちんちんで激しく突かれるの気持ちよすぎて、無理い……っ！」

※卑語なし ver

【小夜】

「んぁっ、あつ、あぁっ！ そんなこと言われても、んんっ！
先生に男性器で激しく突かれるの気持ちよすぎて、無理い……っ！」

〓……

【雅】

「じゃあ、先生から小夜にキスしてあげて」

【小夜】

「ひぁっ！？ あぁっ！
キスって、唇じゃなくて、あつ、あぁっ、乳首につ！？」

【小夜】

「あつ、はっ、あぁっ！ 先生、待ってっ、
んっ、あぁっ、私、乳首、弱いからっ、そんなにキスされたら——」

【小夜】

「あああああああああつ！！！」

【小夜】

「ふああつ！ あつ、あつ！ 私、イッてるのに、
んんっ、先生の腰、全然止まらない……っ！」

【雅】

「うわあ、小夜の顔、めっちゃトロけてる……」

【雅】

「あたしも、先生とエッチしてるとき、あんな顔してたのかな……」

※質||たち

【小夜】

「ああつ！ あつ！ せ、先生、本当に待ってくださいっ！ んあつ、ああつ！
私、一度イクと体が敏感になって、イクの止まらなくなる質だから——」

【小夜】

「ふあつ！？ あつ、あつ、あああああ……っ！！！！！」

【小夜】

「んっ、はあつ、ああつ、駄目、体に力が入らない……っ」

≡■小夜..正面(超近距离) ※密着状態

【小夜】

「ひあつ！ ああつ！ 先生に抱きついたら、
ああつ、あつ、腰の動きが、また速く——ああん！」

【小夜】

「ああつ、あつ！ 先生に突かれるたびにイッちやうつ！
あつ！ あつ！ あああああつ！！！！！」

【小夜】

「あっ！ はっ、んっ！

最後まで、私が主導権を握ったままでいるつもりだったのに……っ！」

＝……

【小夜】

「ふあっ！ ああっ！ あっ！ イクとおまんこ締まるから、先生のおちんちんが、もつと擦れるようになるっ！」

※卑語なし ver

【小夜】

「ふあっ！ ああっ！ あっ！ イクと中が締まるから、先生のがもつと擦れるようになるっ！」

＝……

【小夜】

「んんっ！ んあっ！ あっ！ はあん！
すごい……っ！ セックス、すごい……っ！……っ！」

【小夜】

「はあっ、あっ、あん！ んっ、ああっ！
先生、もつとしてください！ もつと、激しく……っ！」

【小夜】

「んっ、はっ、あっ！ ああっ！
私、おかしくなっちゃったかもしれませんっ！」

【小夜】

「ひうっ！ ん、はっ！ あっ！ あっ！
ずっとイキっぱなしなのに、物足りないんですっ！」

【雅】

「小夜も、あたしみたいに中出しして欲しいんだよ」

【小夜】

「~~~~~っ!!!」

【小夜】

「あつ、あああつ、今、

先生に中出しされるのを想像ただけでイッちゃった……っ!」

【小夜】

「んあつ、はあつ! あつ、あつ!

でも、想像だけじゃ、物足りなさが消えないですっ!」

【小夜】

「はあつ、ああつ、あつ! 先生、私にも、中出ししてくださいっ!」

【小夜】

「ふあつ! ああつ! あつ! ああああ……っ!

先生の腰の動きが、もっと激しく……っ!」

【小夜】

「あつ! ああつ! ああつ!

先生、私にも中出ししてくれるんですね?」

【小夜】

「ひあつ! あつ! あつ! たくさん……っ! たくさん、下さいっ!」

//-----

【小夜】

「んっ! あつ、はっ! あああ……っ!

おまんこの中に、溢れるくらいたくさん、先生の精液、下さいっ!!!」

※卑語なし ver

【小夜】

「んっ! あつ、はっ! あああ……っ!

私の中に、溢れるくらいたくさん、先生の精液、下さいっ!!!」

//-----

※射精（膣内）

＝……

【小夜】

「あつ、ああつ、熱いのが、
おまんこの中で広がってって……んんっ！！！」

※卑語なし ver

【小夜】

「あつ、ああつ、熱いのが、
私の中で広がってって……んんっ！！！」

＝……

【小夜】

「あああああああああああつ！！！！！！！」

＝……

【小夜】

「あつ！ あつ！ あああつ！
これ、体も、おまんこも、全部蕩けちゃう……っ！！！」

※卑語なし ver

【小夜】

「あつ！ あつ！ あああつ！
これ、体も、中も、全部蕩けちゃう……っ！！！」
＝……

【雅】

「中出して、すごいでしょ？」

【小夜】

「はっ、はあつ、ああつ、ええ、すごい……んっ！
想像よりも何倍も気持ちいい……っ」

【小夜】

「あぁっ、はっ、んんっ……こんなに気持ちいいの知っちゃったら……オナニーなんかじゃ満足できなくなっちゃう……」

【雅】

「小夜、いっぱいイッてたもんね」

【小夜】

「はぁはぁ……はっ、はぁっ……ええ、何度もイッちやった……」

【小夜】

「はぁ、はぁ……はぁっ、はぁ……」

先生、先生とのエッチ、すごく気持ちよかったです……」

【小夜】

「んっ……はぁ……はぁ……」

先生、もう少し、抱きついたらままでいいですか？」

〓……

【小夜】

「まだ、体が敏感なままだから……」

先生のおちんちん抜こうとしたら、

それだけで、またイッちやいそうなんです……」

※卑語なし ver

【小夜】

「まだ、体が敏感なままだから……」

先生の男性器、抜こうとしたら、

それだけで、またイッちやいそうなんです……」

〓……

【小夜】

「ありがとうございます、先生」

【小夜】

「ちゅっ♪」

【雅】

「あ、小夜、ズルいつ」

【雅】

「あたしも、気持ちよくしてくれてありがとね、先生」

【雅】

「ちゅっ♪」

※時間経過（長めの間）

≡■小夜…正面（左寄り？）

【小夜】

「はぁ〜♪ 素敵なのひとときでした♪」

≡■雅 …正面（右寄り？）

【雅】

「せ、先生、大丈夫？ なんか、ぐったりしてるけど……」

【雅】

「え？ 『あれだけ自重してたのに、教え子に手を出してしまった』？」

【雅】

「えーつと……先に手を出したのは、あたしと小夜だけど……？」

【小夜】

「というか、先生は気持ちよくなかったんですか？」

≡◆耳打ち

【小夜】

「私は、とても気持ちよかったですよ♪」

【雅】

「くふふつ、その反応、先生も気持ちよかったんだあ☆」

【小夜】

「それはそうよ」

【小夜】

「だって……」

≡■耳打ち

【小夜】

「3回も射精したんですもんね♪」

≡◆耳打ち

【雅】

「またしようね、先生☆」

//@SE:椅子がガタつと鳴る（驚き表現）？

【小夜】

「何をそんなに驚いているんですか？」

【小夜】

「あれだけ素敵な時間を一度だけで終わらせるわけないじゃないですか」

【雅】

「『でも』じゃないよ」

※笑顔で

【小夜】

「もし先生が拒否するなら、先生のエッチな顔の写真、学校中にばらまいちゃいますよ？」

【雅】

「は、腹黒い……」

【小夜】

「あら、雅は乗り気じゃないみたいですし、私と先生の『ふたりだけ』で楽しみたいですよ♪」

【雅】

「まっ、待つて待つて！ 誰も乗り気じゃないとか言ってないしっ」

【小夜】

「ふふっ、慌てちゃって雅ってば可愛い♪」

【雅】

「とっ、とにかくっ、多数決で先生の意見は却下だからねっ」

【小夜】

「納得してもらえたようで良かったです♪」

【雅】

「じゃあ、先生っ☆」

※二人同時

【小夜】

「これから毎日、たくさんエッチしよ♪」

【雅】

「これから毎日、たくさんエッチしよ☆」

//eof